



ヴィネッタをお取り扱いのお客様、ヘルシーフード株式会社様のご紹介です。
昭和 34 年設立以来、医療・介護施設向け食品の開発・販売をてがけている。

販売
病院・施設向け



ヴィネッタをはじめ、約 3000 の製品
を、東京・神奈川・埼玉・千葉の病院、高
齢者施設、福祉施設等へ直接お届け。



食べる喜びに安心を添えて
ヘルシーフード

通信販売
在宅個人向け



在宅で食事療法に取り組まれている個人様へは通信販売専門の関連会社(株)ヘルシーネットワークが商品をお届けしています。病態別に3種類のカタログがあり、商品情報の他、様々なお役立ち情報も多数満載。

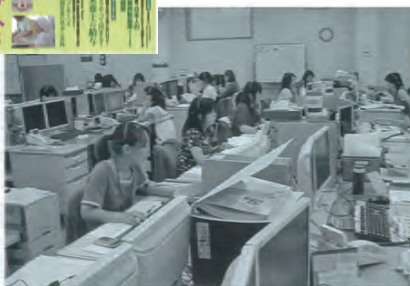
商品開発



独自の技術で、ダムになりにくく、誰にでも失敗なくトロミがつけられる「トロミスマイル」や濃厚流動食専用半固形化補助食品「リフラン」などを開発し、代理店を通じて全国へ販売。



ヘルスケア・レストランの ZOOM UP 企業レポートにヴィネッタが紹介されました！



同社では在宅で食事療法に取り組む人のため、株式会社ヘルシーネットワークを立ち上げ、腎臓病食などを自宅に届けている。営業中はそれらの人からの注文の電話が鳴り止まない。

ではどう考えているのかうかがう。
「適正な栄養管理が求められ、さらに食事の質についても患者の質に響いてきます。常にご高くなつていきます。そのなかで現場の管理栄養士・栄養士の方々の業務は多岐を極めています。私たちは少し役にも立てるよう、手間がかからず、コストパフォーマンス性の高いものを提供していきたいと考えております」

「そのことがですね。調理師への説明が簡単であることもメリットの一つですね。まさに現場で忙しくて、料理の管理栄養士、栄養士に最適な栄養品は「下ロモ」ではないでしょうか」

また、メーカーとしてのヘルシーフード社が独自に開発したのもメリットでは、約10年スミズイが手がけた製品で、これは約1年前に発売された商品で、その最大の特徴はダマにならないように作られていること、都立がすぐ口に溶けること、かき混ぜなくても滑らかなダマにならないこと、在宅療養者の家族などが、ロミの調整に慣れない人などが使っても安全、安心して使えるというメリットがある。もちろん、コスト面でも経済的だ。

「下ロモのつげ方については、現場

の管理栄養士さんがその指導にあ
たっていますが、食現場では驚いた
方々おり、苦労されていると聞い
ています。そういふ所にゆえにた
いに聞かされたのが、トロッマイ
ルであり、ご利用者さまにとって安心し
て使える、ダメにならないトロッミを
つけていただくことが可能です。

在るの患者のなか、現場の管理栄養
士・栄養士の要請、さらに取組先の
メーカーからの提言など、さまざま
な情勢を集め、業務の発展に不可欠
としてヘルシー声に応えながら、あ
らゆるネットワークを駆使しながら
手元、必要とされるものを必要の方
に送り届けている。橋本氏は
決意を固めている。



同社で取り扱う商品のサンプル。これでも取り扱い全商品の
ごく一部だという



マーケティング部の黒田賢祐氏

ZOOM UP

企業レポート

ヘルシーフード株式会社
株式会社ヘルシーネットワーク

ヘルシーフード株式会社
(東京都日野市)

昭和34年の創業以来、病院や施設の高齢者、在宅療養者などへ食品を提供してきたヘルシーフード株式会社。卸しての直接販売、代理店販売、通信販売と、多様な業務内容の同社の取り組みについて、同社マーケティング部の黒田賢司部長が紹介する。

果汁飲料をきっかけに
医療・福祉との関係深まる

東京都日野市の静かな住宅地に、本社直轄へルシェーヴン株式会社。現在、同社は食事療法用食品にだけはいない。福祉施設の直販販売、代理店販売、そして在宅への食事療法用食品の通信販売と、多様な業務を展開している。設立は昭和34年、その前身は「食事は昭和34年」の製菓販売を行っていたが、当時はまだ「食事が健康に必要」という意識がなかった。必要ありと判断しながら、それがきっかけで、医療・福祉施設への関係が深まっていたのだという。

「食品の開発販売」とおして人々の

健康を失ってしまっています。この僕等の理想は今も生きていています。この理
ケティング部部長黒田賢部長は語る。
当初、同社社長は「僕等は医療、福祉と
よの販売の業であったが、あると
き黒光先生の精神科病院「常葉土か
ら、退院患者と共に退院生活者を家
まで届けてほしい」というオーダー
を受けた。聞けば、多くの退院患者が
摂食・嘔下障害から退院生活を求
めているが、自宅での入手がままな
ない状況にあるという。28年前の
ことであり、まだ宅配会社も少な
く、物流業をもっていなかった。エ
リで、同社の社長が車を運転し、そ
を分担しながら利用者の家まで自
分たちで届けたいという。これを自
己の食事療法としての食品提供に始
まり、①緑葉菜・嘔下障害など



ずらりと並んだ同社の食品配達用の配達車。毎朝、ここから一斉にお客のもとへ向かって行く。